



越ヶ谷地区の中心市街地を活性化するため、瓦曾根溜井の平和橋上流右岸に川床を整備し、新たな観光スポットとしてにぎわいの創出と地域の再生を図ります。また、瓦曾根溜井より取水し、越谷～草加～八潮市と流れる東京葛西用水の地域資源を活かし、三市(越谷・草加・八潮)で協力しながら市域を超えた遊歩道の整備を図ります。

## 市町村域とまちづくり川の関係(案内図)



## まちづくり等の課題

- 越谷市は、古くから「水郷こしがや」と呼ばれ、多くの河川や水路を抱えているが、その資源を人のにぎわいと結び付けることはなかった。加えて、宿場町として栄えた越ヶ谷地区も時に流され、地域文化や伝統工芸、地場産業等技術の継承も危惧されている。
- 市民と協働し、また、市域を超えた親水遊歩道の整備への期待が高まっている。

## 目標・テーマ

- 春から夏は農業用水の水面を活かし、秋から春は冬期試験通水の流れを楽しむ「集う場」として四季を通じた観光・交流・地域拠点の整備
- 流れに沿い、市域を超えた遊歩道の整備

# 県に実施してほしい取組

越谷市域を流れる葛西用水は、古利根堰より取水し、逆川を経て瓦曾根溜井に流れます。瓦曾根溜井からは八条、東京葛西、谷古田、四ヶ村用水に分かれ流域をかんがいします。これまで、冬期には用水が涸れ水質は悪化、生き物にも辛い環境でした。平成20年度に川の再生事業で冬期試験通水施設整備が採択され、環境を取り戻しつつあります。

## 位置図



かんがい期の瓦曾根溜井



非かんがい期の様子(H20撮影)

## 実施してほしい取組の概要

- 大落し古利根川への冬期試験通水の増量および逆川～瓦曾根溜井～東京葛西用水への通水の増量
- 河川管理者、関係者への働きかけと調整

## 工程表

	H24	H25	H26	H27
冬期試験通水	協議・調整	通水量の調整	試験的通水	試験的通水

瓦曽根溜井では、平成23年度に川床の試験整備を行います。平成24年度は先の施設を用い多様な場面を想定した試験事業を実施し検証を行い、H25以降の施設拡充に活かします。東京葛西用水では、草加市に近い遊歩道未整備区間の整備を実施、これにより瓦曽根溜井取水口から市域を経て草加市に至る右岸全3.76kmの整備が完了します。

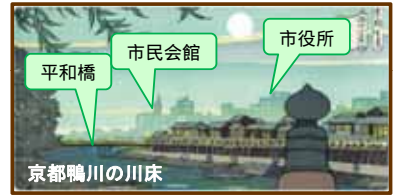
## 越ヶ谷工区位置図

川面イベントイメージ



平成23年11月21日撮影

何処となく・・・似てませんか？



## 事業等の概要

- 瓦曽根溜井平和橋上流に耐候性の木製川床を整備します。
- 東京葛西用水の伊原地区に遊歩道を整備します。
- 川の再生散策マップは、H20からの事業も加え、越谷市観光協会、越谷市郷土研究会等と協働し制作します。



## 伊原工区位置図



## 工程表

	H24	H25	H26	H27
東京葛西	施設整備	管理協定		
瓦曽根溜井	検証検討	施設整備	施設整備	施設整備
散策マップ	調査	調査	調査	編集印刷

# 地域連携・維持管理等の概要

川床の管理・運営について、地域と連携し中心市街地の新たな「核」として活用し、にぎわいの創出を図ります。東京葛西用水の遊歩道管理については、これまでのワークショップで培った絆を活かし、整備後の日常管理は地域で行います。また、遊歩道を利用したウォーキングイベントや川の再生マップを用いた地域の散策会等を開催します。

## 越ヶ谷工区(瓦曽根溜井)



## 地域連携の概要

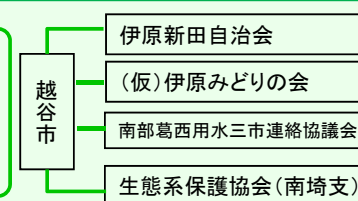
- 川床について、現在の「検討会議」を発展させ、行政と市民の協働による「(仮)運営協議会」を設置、これにより事業の円滑運営や管理業務を行えるようにします。
- 東京葛西用水の遊歩道日常管理(清掃、除草、花植え等)については施設完成後、WSを母体に会が設立され維持・管理を行います。



## 取組全体のアピールポイント

- 越谷市では、H23~24年度で中心市街地活性化基本計画の策定を進めており、川床を核に水辺の「にぎわい」の創出を図ります。
- 各種イベントを通じ、新たな観光スポットとして集客を図ります。
- 東京葛西用水の遊歩道が三市でつながります。

## 伊原工区(東京葛西用水)



# 草加市

## 水辺がこころを癒すまちへ

様式-2

『水辺の再生』を目指し、修景護岸・拠点広場・緑道の整備を行い、農業用水路から新たな一歩踏み出し、水辺ではだれもが笑顔になれるように、親水機能の向上を図ります。この取組により、原風景を活かした快適で潤いのある水辺のまちづくりを推進します。

### 市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)



### まちづくり等の課題

- 田園風景が広がっていた頃、水辺は生活に密接しており農業利水だけでなく憩いの場として利用されていた。しかし、都市化が進むなかで、特に湯水期の水質悪化などにより生活から離れていった。

### 目標・テーマ

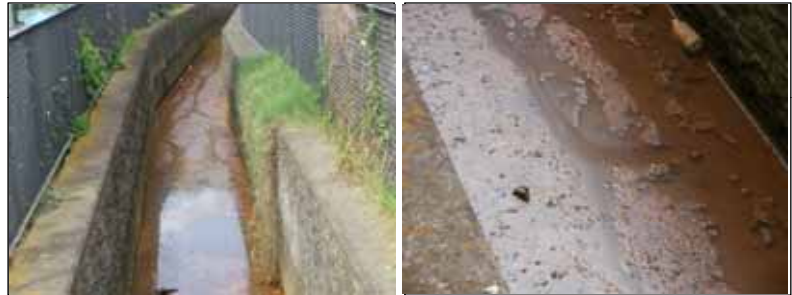
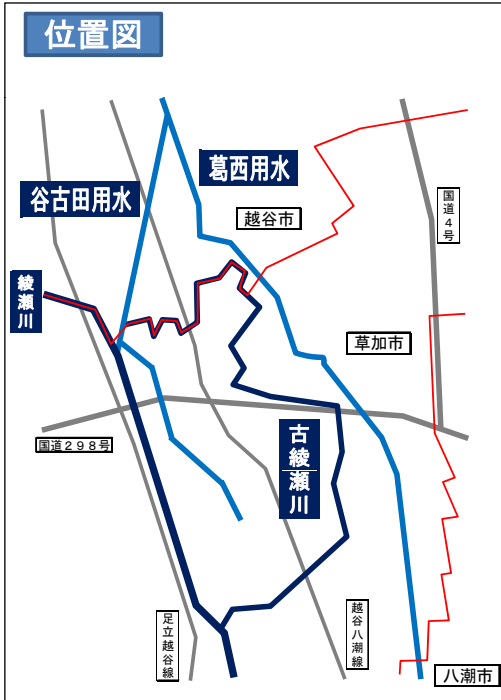
- 『せんべい』 + 『みずべ』

のまちへ

『水辺』に癒しの場を創出するためには、四季を通してそこに『触れられる水』があることです。

そこで、有効的な導水により、水質の向上を図り、こころを癒す水辺を再生し、さらに『水辺』と『ひと』の結びつきを再生します。

## 位置図



## 実施してほしい取組の概要

- 環境用水としての夏場の水利権の確保
- 利根大堰からの冬期試験通水の増量
- 河川管理者、関係者への働きかけと調整
  - ・ 葛西用水で現在実施されている冬季通水(暫定)の継続
  - ・ 谷古田用水から古綾瀬川への導水

## 工程表

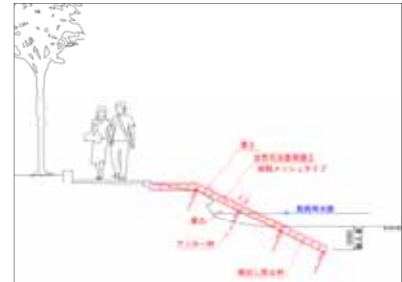
	H24	H25	H26	H27
環境用水	協議調整	試験通水	通水量の増	安定的通水
生態系調査	調査・公表			

# 市町村が取組む事業等の概要(葛西用水地区)

草加市では、「水と緑の田園都市・水辺再生事業」を活用し、平成20年度から平成23年度の4年間で修景護岸などの整備を行いました。

平成24年度から平成27年度の4年間で『新たな「川の再生」事業』を活用し、拠点広場や親水護岸の整備を行い、原風景を活かした『水辺がこころを癒す』まちづくりを進めます。

## 位置図



## 事業等の概要

- 地域の憩いの場を創出します。
- 今後の4年間で葛西用水全線の整備を完了し、越谷市・八潮市との市域を超えたネットワークを構築します。
- 地域と連携した桜祭りなどのソフト事業を継続します。

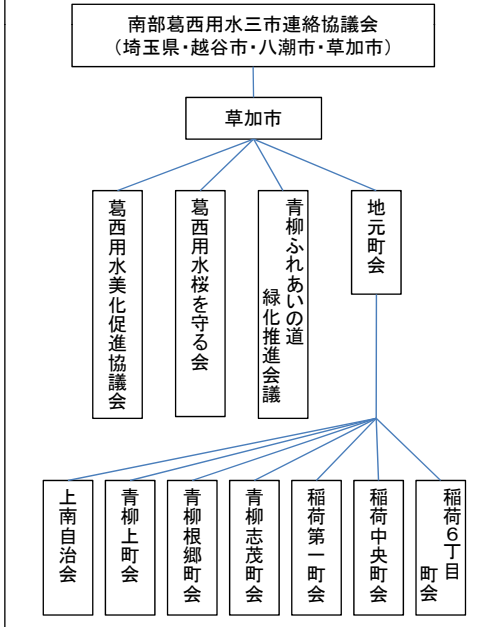
## 工程表

	H24	H25	H26	H27
拠点広場整備	拠点広場			
親水護岸整備	親水護岸			

水辺環境整備計画は、地域住民や隣接する小・中学校及び地元団体とともに検討します。地域活動を支援するため、地域の声を活かした整備を実施します。

また、既に水辺での活動を実施している地元団体への支援を継続し、地域と協働で水辺環境の維持管理を行います。

## 体制図



## 地域連携の概要

- 水辺環境整備計画は、地域の関係者間で広く意見交換して検討します。
- 既に植栽や美化活動などを実施している地元団体への支援を継続し、地域と協働で整備された水辺の維持管理を行います。
- 地域住民が主体となるよう取組み、第三次草加市総合振興計画の目標の一つである『地域との共生』を推進します。

## 取組全体のアピールポイント

- 草加市では、水辺に癒しがあると考えています。
- 本計画では、水辺を再生し、『快適都市』を目指すものです。
- 葛西用水には、桜並木など地域資源が豊富です。
- 将来的には、市域を超え葛西用水流域全体で親水機能が向上します。

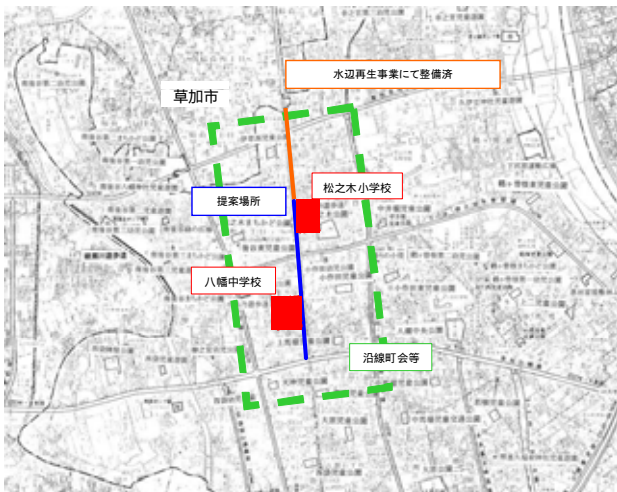
# 八潮市

## まちにうるおいを与える水辺空間の創出

様式-2

八潮の原風景の復活を目指し、現在鋼矢板の護岸で覆われている無機質な東京葛西用水を自然や水生生物及び植生へ配慮した親水護岸へ整備を進めます。また、まちにうるおいを与える水辺空間の創出を図るべく、整備を推進します。

### 市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)



### まちづくり等の課題

- 鋼矢板で囲われているため、水辺へ近づくことが出来ず、水辺と地域住民との間に距離感が生じている。
- 都市化が進み、用水の水質悪化が起こり、さらに水辺から人々が離れている状態である。

### 目標・テーマ

- 原風景の再現
- 学校教育の自然観察の場を整備
- 地域のコミュニケーションの場づくり

八潮市では東京葛西用水の親水化護岸整備をおこなっており、地域と水辺の密接な空間づくりに取り組んでいます。そこで、水辺に安心・安全に触れることのできる水質の確保が課題となっており、水質浄化により、親水化の効果が向上します。

## 位置図



## 実施してほしい取組の概要

- 利根大堰からの冬期試験通水の増量
- 河川管理者、関係者への働きかけと調整
- 年間を通じての、水量水質の安定供給

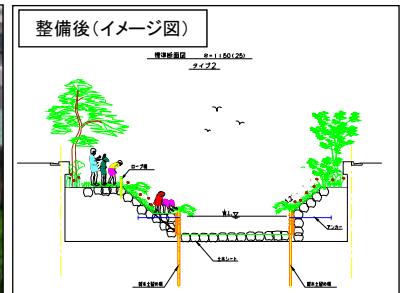
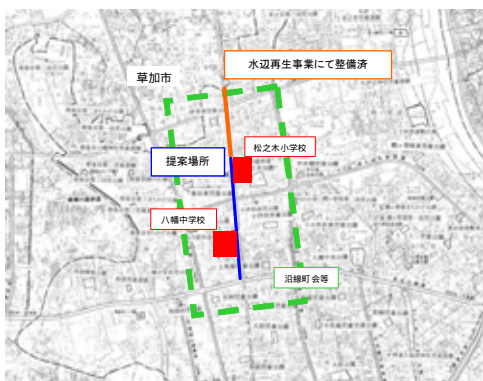
## 工程表

	H24	H25	H26	H27
冬期試験通水	協議調整	通水量の増	試験的通水	安定的通水

# 市町村が取組む事業等の概要(東京葛西用水地区)

八潮市では、緑道・遊歩道整備事業の1つとして「水と緑の田園都市・水辺再生事業」(埼玉県)を活用し、平成20年度から平成23年度の4年間でまちにうるおいを与える水辺空間の創出を目指し、まちづくりを進めています。平成24年度以降も同様にまちづくりを推進していきます。

## 位置図



## 事業等の概要

- 鋼矢板を修景し、親水護岸を整備します。
- 八潮の原風景の再現を試み、自然の復元を図ります。
- まちにうるおいを与える水辺空間の創出を図ります。

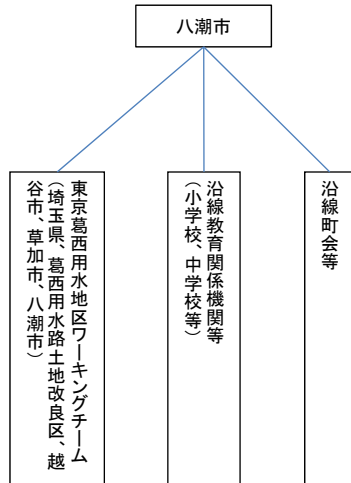
## 工程表

	H24	H25	H26	H27
護岸整備	どんぐり遊歩道 ～小松橋	小松橋～小作 田橋	小作田橋～上 小橋	上小橋～馬場 新橋
L(整備延長)	L=270m	L=220m	L=186m	L=130m



東京葛西用水親水化護岸整備計画は、地域住民や東京葛西用水地区ワーキングチームとともに検討します。整備後は町会や学校等と協働で遊歩道の維持管理を行っていきます。

## 体制図



## 地域連携の概要

- 東京葛西用水親水化護岸整備計画は関係者間で広く意見交換して検討します。
- 日常管理は町会や小・中学校と協働で行います。

## 取組全体のアピールポイント

- 八潮市では、親水護岸整備はまちにうるおいを与える水辺空間の創出と考えています。
- この計画は、越谷市・草加市から続く遊歩道の連続整備を予定するものです。
- 将来的には越谷市・草加市・八潮市で広域的な遊歩道が完成します。